

院 長	副院長	臨研部長	事務部長	看護部長	臨床検査技師長
					

倫理審査委員会議事録

1. 開催日時 : 令和 7年7月24日(木) 16時55分～17時20分
2. 開催場所 : 第1会議室
1. 出席者 : 副院長、事務部長、臨床研究部長、臨床検査技師長
古賀委員(外部委員)、山田委員(外部委員) 欠)看護部長
(記録) 管理課長
4. 審議議題 : 受付番号「2025-06」の課題につき、別紙申請書に基づいて申請者から研究内容の説明があり、委員からの質疑後、審議結果となった。

受付番号 「2025-06」

課題名 「国立肥前療養所における未復員兵士の研究」

○申請者名：肥前精神医療センター 臨床研究部長 本村 啓介

質疑内容

申請内容について説明。

- ・審査委員：研究についての説明を希望される方等からの連絡については誰が対応するのか。

申請者：窓口は研究部事務とし、当職からメールにて返信する形を考えている。
名前と生年月日を確認することで悪戯防止にもなる。

- ・審査委員：孫などになると生年月日までは分からない可能性がある。

申請者：当時の残っている情報から連絡するのは困難だと考えている。連絡がとれたとしても迷惑になる可能性があるため受動的な手法で考えている。

- ・審査委員：歴史の研究は非常に大変な労力がかかることとあわせ、確認を取る事が大変な時代となっている事に鑑み、イレギュラーにどう対応するか、拒否されるケースが多く発生すると思うが、その際の対応を事前にまとめておいた方がよいのではないか。

申請者：こちらからではなく受動的な対応とし、真摯に説明することでトラブルは起こりにくいと考えている。

- ・審査委員：説明した結果、掲載拒否があった場合や、家族ではない人から何故このよ

うな研究をするのか等があった場合はどうか。

申請者：あくまで関係者との対応のみで行っていく。しょうけい館も同様の運用を実施しており、これに準じた形で考えている。

- ・ 審査委員：「何が目的か」「調べるな」等の偏った思想の意見が出ないかの懸念を感じる。

申請者：病院の歴史をまとめることを批判されるいわれはないと考えている。

むしろまとめられていないことのほうが非難される恐れがあると思う。

マラリアの影響等も含め、医学的な検証にもつながる。

- ・ 審査委員：未復員に限定せずに当時の歴史という形でのオプトアウトはどうか。

少しぼやける形とはなるが。

- ・ 審査委員：戦争という部分を外すなどではマスコミが求めるセンセーショナルな内容とはならず、理解が得られない可能性がある。

- ・ 審査委員：戦争に加担した、等の批判の可能性を考慮し、これに巻き込まれないよう病院側のスタンスを明確にしておかなければ、マスコミの煽り等の危険性も含め、場合によっては問題が起こるかもしれない。

申請者：一方では国策としての説明、また一方では当時の戦争中の歴史を明らかにする等の説明をするなど、状況に応じた説明を行っていく。どちらも真実であり、他研究者を見ても問題ないと考えている。

- ・ 審査委員：そのあたりを予測のうえ対応を考えておられればよいと思うが。

申請者：当研究は非常に重要なものであり、慰霊の意味あいも込めて実施したい。

- ・ 審査委員：同意については明確に記載したほうがよいのではないか。

申請者：オプトアウトである。患者情報について遺族が反対したらずすという事は考えていない。

- ・ 審査委員：法的には問題なくとも遺族の感情的には厳しいのではないか。納得しない場合は想定しているか。

申請者：しっかりと説明のうえケースバイケースで対応していく。

- ・ 審査委員：調査することで関係者の利益不利益は生じないか。

申請者：遺族情報は含まれていないと考えており、問題ない。

- ・ 審査委員：拒否されると終了となるのか。

申請者：遺族の情報は表に出ることはないとしっかり説明を行う。特定の情報を出してほしくないなどの要望があれば、研究に差し支えない範囲で受け入れる事もやむを得ないとする。

- ・ 審査委員：非常に意義のある研究であるが、思想的な反発が心配である。

遺族情報は結び付かない、等の同意免除についてはしっかりと記載したほうがよいと思う。

マスコミにとりあげられた時のためにも、納得してもらえない場合などに検討するなどの書きぶりについて、ホームページに掲載する内容を検討願いたい。(案)のなかの「研究についてご意見ご要望のある方は」は削除してもよいと思う。

・ それでは、審議の結果、承認ということでよろしいか。

→ 異議なし。

審査結果

倫理審査委員会として了承した。